

那覇市地域包括支援センターと機能別病棟との連携研修会

内容：『那覇市内の機能別病棟の代表者が一堂に会し、
制度の基本から自院の「強み」や「連携のリアル」を共有する』

○日 時：令和8年9月4日（金） 午後4時00分～6時00分

○場 所：那覇市医師会・4階ホール

○参加者：50名（医療側：21名うち市内9病院、地域側：29名うち市内15包括）

【目的】市内の機能別病棟の制度や強みについて地域包括支援センターの職員らが共通理解を深めるとともに、各病棟を「使う場面」や実際の事例を想起しながら聴講をすることで、現場で活かせる実践的知識を習得し、円滑な入退院調整と顔の見える連携体制の強化を図ることを目的とする。

サマリー 今回の研修は、対象10医療機関のうち9医療機関（90%）が参加し、各病院から機能別病棟の特徴や強み、受け入れ条件等を直接聞くことで、参加者の病院機能への理解を深めるとともに、「どのようなケースを、どの病院につなぐのか」「相談時にどのような情報を伝えるのか」など、日頃の入退院支援・地域連携を見直す機会となった。特に、病院職員の顔が見える関係づくりへの評価が高かった。今後は地域包括・ケアマネ等との意見交換や事例検討など、双方向の連携を深める場を求める声が寄せられた。



・地域包括医療病棟 ・地域包括ケア病棟
・回復期リハビリテーション病棟 ・緩和ケア病棟
上記病棟をもつ各病院の代表者より報告いただいた



那覇市地域包括支援センターと機能別病棟との連携研修会

日 時：令和8年9月4日（金）16:00～18:00

場 所：那覇市医師会・4階ホール 参加者：50名

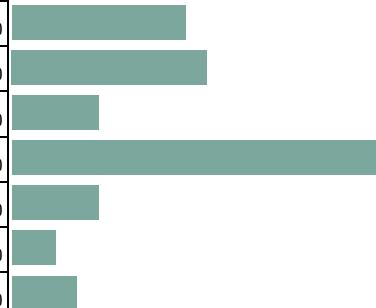
医療側：21名 おもろまちメディカルセンター、那覇ゆい病院、沖縄赤十字病院、オリブ山病院、大道中央病院、メディカルプラザ大道中央病院、琉生病院、大浜第一病院、その他

地域側：29名 地域包括支援センター（15）：大名、城西、繁多川、松島、識名、安里、古波蔵、国場、新都心、安謝、泊、城岳、かなぐすく、小禄、高良
居宅介護支援事業所（1）：オリブ山居宅介護支援事業所

アンケート回答者：47名（回収率：94%）

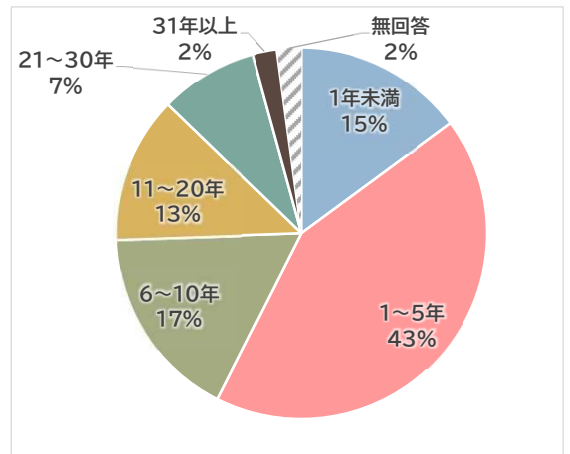
1. 職種

選択肢	人数	割合
MSW	8	17%
看護師	9	19%
保健師	4	9%
ケアマネジャー・ケアプランナー	17	36%
社会福祉士	4	9%
認知症地域支援推進員	2	4%
その他	3	6%
合計	47	100%



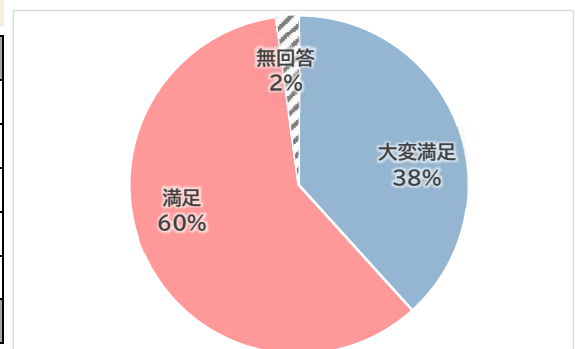
2. 現在の業務の経験年数

選択肢	人数	割合
1年未満	7	14.9%
1～5年	20	42.6%
6～10年	8	17.0%
11～20年	6	12.8%
21～30年	4	7.0%
31年以上	1	2.1%
無回答	1	2.1%
合計	47	100%



3. 本日の研修会全体の満足度を教えてください。

選択肢	人数	割合
大変満足	18	38%
満足	28	60%
どちらともいえない	0	0%
不満	0	0%
無回答	1	2%
合計	47	100%



【ご意見・ご感想について】

◆ 地域側

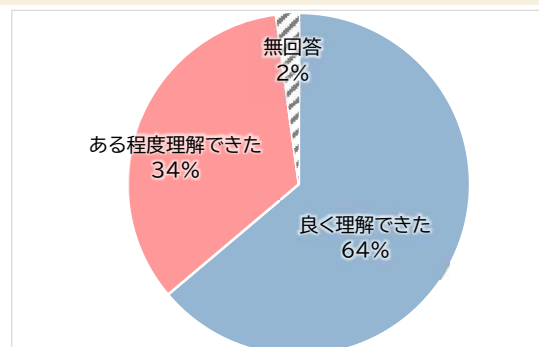
- ・「地域包括医療病棟」初めて知りました。
- ・色々な代表的な病院が特色の説明をしてくれて分かりやすかった。
- ・各病院の特徴が分かりました。
- ・今回、たくさんの病院の機能別病棟、それぞれの特徴が聞けて良かったです。
- ・全体的にとっても分かりやすく満足しています。
- ・それぞれの病棟の特徴を知ることができました。
- ・大変勉強になりました。
- ・地域の主な病院の強みや特徴が分かって良かったです。
- ・病院の強みが分かって良かったです。
- ・利用に関して情報を得られて良かったです。
- ・少しスピードが速かったと思いますが、このような研修会を企画していただき感謝です。
- ・参加していない病院もあるので、もっと別の病院の話も聞きたいと思いました。

◆ 医療側

- ・色々と研修があり勉強になります。
- ・紙での資料提供があったので、持ち帰り院内で共有できるため良かったです。またスライドも見やすいようにiPadもあり工夫されていて、ありがたかったです。
- ・病院側の説明のみだったため、包括・ケアマネからの話を聞きたかったです。
- ・一方向での報告になってしまったのが少し残念でした。

4. 機能別病棟の役割・強みについての理解度を教えてください。

選択肢	人数	割合
良く理解できた	30	64%
ある程度理解できた	16	34%
どちらともいえない	0	0%
理解できなかった	0	0%
無回答	1	2%
合計	47	100%



【ご意見・ご感想について】

◆ 地域側

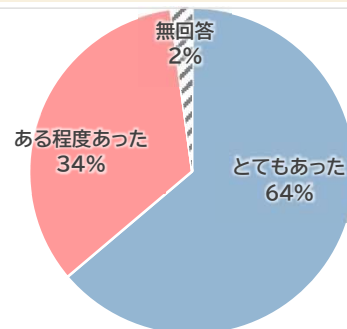
- ・以前、地域包括医療病棟に対象外の人を相談しようとして断られました。今回で、地域包括ケア病棟との違いが分かりました。
- ・同じ回復期リハビリテーション病棟でも在宅からの利用不可・可能の違いを知れて良かったです。
- ・各病院の強みが分かりとても良かったです。
- ・これまで、なんとなく理解していたことも、各病院からの説明で良く分かりました。
- ・それぞれの特徴が理解できました。
- ・プレゼンの構成が統一していたので、頭の中で整理ができました。
- ・身寄りのない方の受け入れ（条件について）理解できました。
- ・入院前の実態調査を実施しているのはすごいと思いました。
- ・連携のあり方、情報共有することの大切さ、各病院の機能別が良く理解できました。

◆ 医療側

- ・他院の受け入れ対象やルールが分かり参考になりました。

5. 本日の研修会を通して、明日からの業務に活かせる気づきや発見はありましたか。

選択肢	人数	割合
とてもあった	30	64%
ある程度あった	16	34%
どちらともいえない	0	0%
なかった	0	0%
無回答	1	2%
合計	47	100%



【ご意見・ご感想について】

◆ 地域側

- ・ 色んな利用者様がいるため、支援していくうえで役立つと思います。
- ・ 受け持ちの利用者の状況を思い浮かべながら話を聞いていたので、本人に確認し相談してみようと思いました。
- ・ 各病院へ相談するにあたり、お伝えする情報を病院の希望に沿って準備できるようにします。
- ・ 今後、包括から病院への相談時に意識することが学べました。
- ・ 情報提供の対応を急ぎたいが、連絡待ちで良いのか迷うことがあります。
- ・ ショートステイではないレスパイトや医療とつなげたい場合があるので、活用できると思いました。
- ・ 提供する情報が明確になりました。
- ・ 病院側の困りごと等も知ることができました。
- ・ 病院の機能に応じた入退院支援について学べました。
- ・ 病院へ相談する立場（包括プランナー）として、ただ「入院させたい」だけではなく、見通しをたてたうえで相談することで、その後の連携・支援がしやすいことが分かりました。今後、業務に活かしていきたいと思いました。
- ・ 包括職員間で共有します。
- ・ 連絡先が書いてあるので助かります。ていーあんだールールもその部分を良く見えています。

◆ 医療側

- ・ 回復期病棟・緩和ケア病棟への理解ができました。
- ・ 他院の病棟の内容が分かったのが良かったです。

6. 本日の研修会で特に印象に残った点や、今後の業務で意識していきたい点等があればご記入ください。

◆ 地域側

- ・ 今までには利用者が入院して知ることが多々あり、要領が悪いことがありました。
- ・ スムーズに在宅生活へ戻るためのサービス調整ができるよう今後意識していきたいです。
- ・ お互いに必要としているものは一緒だと思いました。早めに情報交換していきたいと思いました。
- ・ オリブ山病院は精神科とのケアミックスが特徴的だなと印象に残りました。
- ・ これだけの数の病院から一度に話を聞ける機会はなかなか無いので、とても勉強になりました。企画運営の方々ありがとうございました。
- ・ 各医療機関の強みや受け入れが困難な情報が得られました。
- ・ それぞれの病院から依頼のあった内容や基準などを意識して連携していきたいです。
- ・ 各病院の強みが良く分かりました。
- ・ 事前に分かっている家族などの問題などもあれば情報共有をする、退院後の方向性など分かる範囲でもいいから伝える等業務で活かしたいです。

- ・各病院の強みとしているところが分かり、今後の入院などの相談に活かすことができると感じました。
- ・各病院の取り組みの違いや内容も聞けたのでとても良かったです。
- ・身寄りがない方等難しい方程、使い難いので相談に前向きに対応して欲しいと思いました。
- ・各病院のナビダイヤルが増えているので、正直、連携室への直通TELがある病院は相談しやすいと思いました。
- ・緩和ケアの話がちょっとジーンとききました。
- ・機能別の紹介がとても良かったです。担当の相談員（管理者）の顔が見れたのも良かったです。
- ・特に緩和ケア病棟は、日頃関わる事がなかったので勉強になりました。
- ・身寄りのない方の受入可否は病院によって違うことも分かりました。
- ・地域包括ケア病棟は病院によって受け入れ体制が違うこと、その違いが今回この場でまとめて聞かせてもらえて良かったです。
- ・機能別病棟についての役割や日数・対象が明記され分かりやすかった。各病院の強みを知れたのが良かった。
- ・急な入院をどうしてもお願いしたいことが時々ありますが、可能な病院と必要な情報が分かり、今後の相談に活かしたいと思います。特に、退院の方針について把握していても、入院依頼時に伝えていなかったの、気を付けようと思います。
- ・困っている人の声を聴いて、その人にあった病院や支援の仕方も含めて、改めて勉強していきたいと思いました。
- ・市民への案内時に参考にさせていただきます。
- ・診療情報提供書が必要とされることが分かりましたが、診療情報提供書は用意に時間がかかるため、悩ましいと感じました。
- ・相談する際の必要な情報共有をしっかりしていきたいと思いました。
- ・退院後について意識して支援していきたいと思いました。
- ・地域包括医療・ケア病棟の違いなどが分かり、今後活かしていきたいです。
- ・同じ地域包括ケア病棟でも特色が違うことを学べて今後活かそうです。
- ・地域包括医療病棟の役割、入院日数を把握していなかったの、今回知ることができ良かったです。
- ・地域包括医療病棟も地域包括ケア病棟もレスパイト入院可とのことだが、受け入れに際し病状や状態像の違いがあるのかを、次回開催時にでも教えてほしいです（定期開催3カ月毎希望）。
- ・入院の際に必要なもの（情報や主治医の意見書等）が各病院ごとに記載されていて分かりやすかったです。
- ・各病院の特性を知ることができ、病院選定がしやすくなりました。
- ・病院の機能について改めて確認することができました。その病院が持つ強み（施設を持っている等）を知ることで、どの病院につなげば患者様にとって良いか知ることができ、良い資源になりました。
- ・本日参加していない医療機関も多いので、第2回目や何か情報があれば今後活かせると思うので、ぜひお願いしたいです。
- ・より良い支援のために連携は大切だと改めて感じました。

◆ 医療側

- ・医療機関同士でも詳細を知らない情報もあったのでタメになりました。
- ・地域包括ケア病棟でレクを実施していることを知りました。
- ・緩和ケア病棟について、末期腎不全の受け入れの調整をしていること。

7. 今後取り上げてほしいテーマや、さらに深めたい内容等があればご記入ください。

◆ 地域側

- ・医療と在宅での意見交換会
- ・永遠のテーマ「ACP」
- ・今回紹介がなかった別病院の内容も同じテーマで取り上げられたら嬉しいです。

- ・療養病床（医療区分Ⅰの患者は入院しづらいことや、受け入れ要件等の説明、ADL区分）、障害者等施設基準・介護医療院の機能や対象病院からの説明も今回のような形で教えていただけるとありがたいです。
- ・「歯科との連携」について
- ・入院中のリハビリの単位を質問したかったが、時間がなくてできなかったのも、是非教えてほしいです。（例）琉生病院のような1日or午前・午後の単位数
- ・病院受診を拒否している方への病院へのつなぎ方・支援について事例検討等あれば参加したいです。
- ・病院の特徴をそれぞれから説明してくれて良く分かりました。次はケースの好事例など紹介しても良いですね。
- ・表などにまとめられていると分かりやすくなると思います。
- ・身寄りがない方・金銭問題のある方の受け入れや、退院先について知識を付けたいです。

◆ 医療側

- ・地域包括支援センター側から病院への質問や相談を共有できたりする場があれば良いと思いました。
- ・地域包括支援センターやケアマネジャーからも病院についての連携の要望があれば聞いてみたいです。